

SDGs 未来都市おおむた 夢を描くまちづくり



民主・護憲クラブ
櫻井 ちはる 議員



市長の政治姿勢① 市の安全対策について

問 ガス漏洩事故の被害に遭われた皆様に心よりお見舞い申し上げます。

市長は今回の事故をどのように総括されているか。

答 まつりの一部が中止になったことは大変残念に思っている。事業所には再発防止、安全対策の徹底を要請するとともに、被害に遭われた方への丁寧な対応を強く要請した。

市長の政治姿勢② 庁舎整備 総事業費の削減と市民意見の反映を

問 ※CM方式はコスト削減、工期管理に資するとあるが、リスク軽減の具体策は。

答 建設費上昇に伴い、全国の自治体で庁舎整備の入札等が成立せず、工期遅延の事例が散見されている。そうしたリスク削減のため、CM事業者の分析に基づき、市が主体的に判断を行う。

問 市長も総事業費の削減が重要な課題とされているが、市長は削減後の事業費の上限をどう考えているか。

答 基本構想で151～159億円と示しているが、事業費削減

は大事な視点と考える。これからの基本計画等の策定の中で実施し、皆様に示したい。

再発言 市民の皆さんが納得される大幅な事業費の削減を。

問 市民の合意形成について、今後、計画が策定されていく中で市民の声を届ける方法と、市民の声がいつまでなら生かされるのか聞きたい。

答 関係団体の皆様に適切な施設運営ができるような意見を頂戴する機会をつくっていく。また、適宜適切な機会、事業の進捗に合わせ議会の皆様に報告し、意見を頂戴しながら進めていく。

再発言 その適宜適切な時期が不明。将来世代に及ぶ財政負担は重大な決断である。透明性を高め、節目ごとに市民の皆様の理解と納得を得ながら進めていき、意見を反映できる仕組みを強く要望する。

庁舎は市民のものであるので、ぜひ市民の参加を。

保護者ニーズの高い 本市独自の夏休み小学生 預かり事業

問 2年間で利用者数が2倍近くに増えたこの事業について、市長はどのように将来像を描いているのか。

答 利用者のニーズ、満足度も高く、子育て世代に魅力的なまちづくりに必要な事業の一つだと考えており、できる限り継続して取り組みたい。

再発言 人手不足が課題であり、昨年、私から提案した保育を学ぶ学生アルバイトが3園で22名雇用されたことは、

事業者と学生の双方にとって良い取組である。大牟田発のこのニーズが高い事業を福岡県の事業としても検討いただくよう県に対するPRと、予算の拡充を要望する。

公共施設の授乳環境の整備 (授乳室の必要性)

問 授乳室がカルタックスに新設されたが、他の公共施設への整備の必要性を中村副市長はどのようにお考えか。

答 子育てしやすい環境づくりの取組として授乳室や代替室の周知に努めるとともに、各施設における部屋の有効活用を含め検討したい。

再発言 母子利用のニーズ調査を行い、文化会館や子育て広場のある手鎌、三池地区公民館への環境づくりを。



カルタックスおおむたの授乳室

高齢者や交通弱者も 安心して移動できる 公共交通の確保

問 70歳以上が対象の高齢者運転免許証自主返納については年々増えている状況だが、移動手段をどう確保するのか。

答 地域のニーズに応じた移動手段を支援していく。今後、人口減少や高齢化が進展したとしても日常生活が維持することができるような公共交通体系サービスの構築を目指す。

※CM（コンストラクションマネジメント）方式…大型の建設事業において、豊富な実績を持つ事業者が中立的な立場からコスト・品質・スケジュールについて助言や情報整理をする方式。